

調査から見える

浦安っ子の



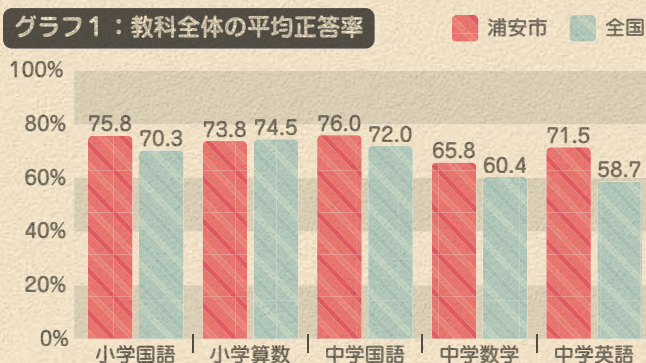
浦安市では、毎年小学校4年生と中学校2年生を対象に、市独自の学力調査を実施しています。本調査は実施した学年だけでなく、学校全体での学力向上を目的としており、調査結果から、今の浦安の子どもたちの学習や生活の様子が見えてきます。

結果をイメージして予想することの大切さ —— 成果と課題 ——

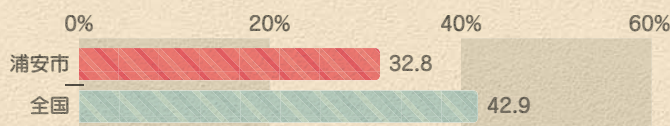
6月に行った本年度の浦安市学力調査では、どの教科も全国平均と同程度、または上回る結果となっています。特に、小学校の国語と中学校の数学では全国平均を5ポイント以上、中学校英語では12ポイント以上上回り、たいへん良好な結果となっています。(グラフ1)

本年度は小学校4年生の算数「図形」に課題が見られました。「2つ折りの紙から正三角形ができる切り方を考える」問題では、正答率が3分の1を下回り、全国平均より10ポイント以上低くなっています。(グラフ2) 具体物を操作して予想を確かめる活動や、図画工作等、図形に関連する他の学習も大切になってきます。

グラフ1：教科全体の平均正答率



グラフ2：2つ折りの紙から正三角形を切り取る方法 (正答率)



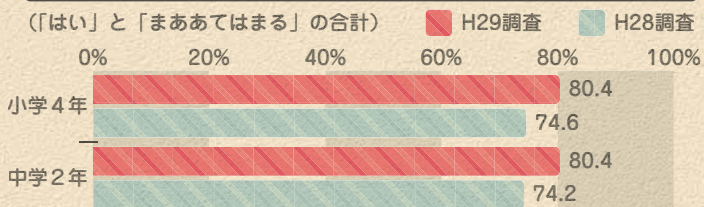
発表・話し合いに熱心な浦安っ子 —— 質問紙調査から ——

平成30年度から教科により段階的に実施される次期学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の充実が図られます。

「授業で自分の考えを発表する機会が与えられていたか」「授業では友達・生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思うか」の質問では、「はい」「まああてはまる」の合計は、28年度調査を大きく上回り、小学校・中学校とも80%を超えています。(グラフ3・4)

浦安の子どもたちは、積極的に自分の考えを発表し、話し合い活動に取り組むことによって、学習を深め合っています。

グラフ3：授業で自分の考えを発表する機会が与えられていた



グラフ4：授業では友達(生徒)の間で話し合う活動をよく行っていたと思う

